

クレハのSDGs

フッ化ビニリデン樹脂 クレハKFポリマー



温室効果ガスに起因するとされる温暖化は、地球にとって深刻な問題であり、あらゆる産業において対応すべき喫緊の課題です。自動車産業では、CO₂の排出量を削減するために電気自動車やハイブリッド車などの環境対応車へのシフトが急速に進められています。当社のフッ化ビニリデン樹脂「クレハKFポリマー」は、環境対応車に搭載されるリチウムイオン二次電池の正極材バインダー（接着剤）として採用されています。

「クレハKFポリマー」は、1970年に当社が日本で最初に工業生産を開始したフッ化ビニリデン樹脂です。「クレハKFポリマー」が持つ耐薬品性、電気化学的安定性、高い接着力などの特性は、リチウムイオン二次電池のバインダー用途に非常に適しており、世界で初めてリチウムイオン二次電池が実用化された1991年に採用が開始されました。以来、信頼と実績の素材として、今日もなお広く使用されており、車載用正極材バインダー用途では世界市場の約40%のシェアを有しています。また、ますます高まるリチウムイオン二次電池の需要に対応するために、中国江蘇省常熟市のフッ化ビニリデン樹脂生産設備を増強することも決定いたしました。

クレハは長年培ってきた技術を生かし、環境課題の解決や社会に貢献するモノづくりを進めています。

いわず事業所はマザー工場として価値ある製品を創出

呉羽総合病院は医療で地域を支えます

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株主名簿管理人 東京千代田区丸の内1-3-3
みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）、下記のお取扱店にてお取次いたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

●お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

●お取扱店 みずほ証券およびみずほ信託銀行^(※)
(※)トラストラウジではお取扱できませんのでご了承ください。

●未払配当金のお支払 みずほ信託銀行^(※)およびみずほ銀行(みずほ証券では取次のみとなります)
(※)トラストラウジではお取扱できませんのでご了承ください。

株主名簿管理人 東京千代田区丸の内1-3-3
みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）、下記のお取扱店にてお取次いたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

●お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

●お取扱店 みずほ証券およびみずほ信託銀行^(※)
(※)トラストラウジではお取扱できませんのでご了承ください。

●未払配当金のお支払 みずほ信託銀行^(※)およびみずほ銀行(みずほ証券では取次のみとなります)
(※)トラストラウジではお取扱できませんのでご了承ください。

会社概要 / 株式の状況 CORPORATE DATA / STOCK DATA

会社の概要 (2021年9月30日現在)

商号 株式会社クレハ
 英文社名 KUREHA CORPORATION
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
 設立 1944年6月21日
 資本金 18,169百万円
 グループ従業員数 4,312名(単独：1,687名)
 連結対象会社数 30社(連結子会社28社、持分法適用会社2社)
 ホームページ <https://www.kureha.co.jp/>

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長 小林 豊
 取締役専務執行役員 佐藤 通浩
 取締役常務執行役員 野田 義夫
 社外取締役 戸坂 修
 社外取締役 樋口 一成
 常勤社外監査役 桐山 勝
 常勤監査役 吉田 徹
 社外監査役 押味 由佳子
 常務執行役員 西畑 直光
 常務執行役員 陶山 浩二
 常務執行役員 田中 宏幸
 執行役員 名武 克泰
 執行役員 米澤 哲
 執行役員 並川 昌弘
 執行役員 佐藤 浩幸

●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。
 (<https://www.kureha.co.jp/ir/stocks/koukoku.html>)
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京千代田区丸の内1-3-3
 みずほ信託銀行株式会社

株式の状況 (2021年9月30日現在)

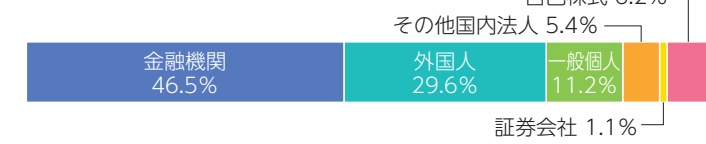
発行可能株式総数 60,000,000株
 発行済株式総数 20,805,407株
 株主数 10,253名

大株主の状況 (2021年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,269	11.6
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,832	9.4
明治安田生命保険相互会社	1,374	7.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	720	3.7
東京海上日動火災保険株式会社	550	2.8
株式会社みずほ銀行	400	2.0
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 381572	386	2.0
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	302	1.6
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	269	1.4
みずほ信託銀行株式会社	266	1.4

注) 持株数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。
 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株式の所有者別構成比 (2021年9月30日現在)



WEBサイトのご紹介

当社の最新の情報は
 WEBサイトを
 ご覧ください。
<https://www.kureha.co.jp>

KUREHA REPORT

クレハレポート 第109期 中間報告書

2021年4月1日 → 2021年9月30日



いわず事業所はマザー工場として価値ある製品を創出



呉羽総合病院は医療で地域を支えます

トップメッセージ

社会課題の解決に
 貢献する企業へ

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION

証券コード：4023

Topics

トピックス

5月	釣糸「シーガー」発売50周年	1971年に世界初のフッ化ビニリデン樹脂製釣糸として誕生したシーガーは、発売以来トップブランドとして世界中で愛用されています。
8月	呉羽総合病院で 新型コロナウイルス陽性者の受入れ開始	新型コロナウイルス感染症の陽性患者専用の病床を新たに確保し、軽症および中等症の患者の受入れを開始しました。
9月	CSRサイトリニューアル公開	国際的なサステナビリティ報告の基準であるGRIスタンダードを参考にした情報開示を進めています。
9月	韓国連絡事務所を開設	フッ化ビニリデン樹脂事業に関する市場情報収集および現地関係先との連絡円滑化を主たる目的として、韓国・ソウルに韓国連絡事務所 (Kureha Corporation Korea Liaison Office) を開設しました。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION

社会課題の解決に貢献する企業へ



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の社会的影響が続いておりますが、一日も早く収束し、皆様の平穏な生活が戻ることを心より願っております。当社第109期中間期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の「クレハレポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長 **小林 豊**

2021年度上半期の振り返り

2021年度上半期の当社グループの売上収益は前年同期比19.7%増の791億円となりました。自動車の電動化拡大に向けて、車載用リチウムイオン二次電池や軽量化材料等の需要が高まっており、フッ化ビニリデン樹脂やPPS樹脂の販売が拡大し、Withコロナの暮らしの中で、“内食”や“屋外レジャー”が好まれ、家庭用品や釣糸の売上げが伸長しました。原燃料等の価格の上昇による業績への影響はあるものの、適切な製品価格への転嫁等の対策を図り、営業利益は前年同期比84.0%増の114億円、税引前四半期利益は前年同期比79.2%増の115億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比73.0%増の83億円となりました。

なお中間配当金は、当初の予想通り1株につき85円とさせていただきます。

経済・社会の変化への順応

国内においては、ワクチン接種の拡大に伴い、新型コロナウイルス感染症は小康状態を示していますが、海外においては、ワクチン供給の遅れ等により、今も感染拡大が続いている国や地域があります。2020年初めから、世界に広がったコロナ禍により、いったん細ってしまった物流や、原料のサプライチェーンが常態を回復するのは容易でなく、石油や原材料価格の高騰、海運のひっ迫と原料・製品のリードタイムの長期化等が、世界経済と社会に大きな影響を及ぼしています。

10月31日から11月12日にかけて開催されたCOP26では、カーボンニュートラルに向けた各国の取り組みの加速

が議論され、日本は2030年までの温室効果ガス排出抑制目標にコミットすることが期待されています。

当社グループも、温室効果ガス排出抑制と廃棄物削減(ゼロエミッション)をグループ一体となって推進すべく、9月に全社プロジェクト「カーボンニュートラル プロジェクト」を発足し、2050年のカーボンニュートラル実現に向けたアクションプラン作りに取り組んでいます。また企業の事業活動において、気候変動が及ぼす影響(リスクと機会)と対応についての開示が求められており、TCFD提言の枠組みに沿った分析と開示に向けた準備を進めています。

当社グループは、「技術立社」企業としての存在感を高め、新たな価値を創出し社会に貢献し続ける高付加価値型企業となることを目指してまいりましたが、今後も差別化された製品と技術により、さまざまな社会課題の解決に貢献する事業の育成・拡大に取り組んでまいります。

2021年度通期業績予想について

2021年度通期の業績予想につきましては、車載用リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂や自動車軽量化に寄与するPPS樹脂などの機能樹脂、家庭用ラップ「NEWフレラップ」や釣糸「シーガー」などの樹脂製品の販売拡大が見込まれています。売上収益は前期比10.7%増の1,600億円、営業利益は同13.0%増の195億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同3.8%増の140億円を予想しております。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

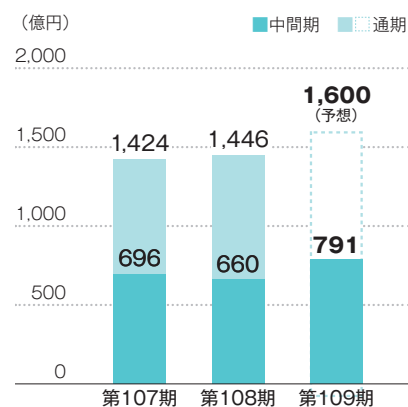
詳細はこちらをご覧ください

<https://www.kureha.co.jp/ir/zaimu/profits.html>

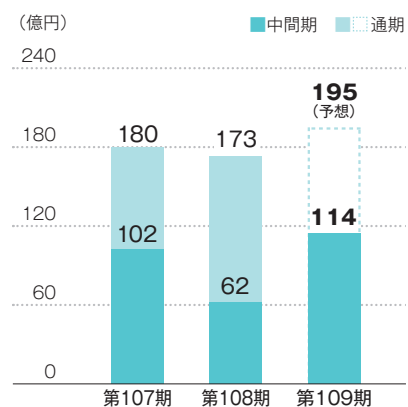


科目	第107期 (2019年度)		第108期 (2020年度)		第109期 (2021年度)	
	中間	通期(期末)	中間	通期(期末)	中間	通期予想
売上収益	(億円) 696	1,424	660	1,446	791	1,600
営業利益	(億円) 102	180	62	173	114	195
税引前(四半期)利益	(億円) 101	179	64	177	115	195
親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益	(億円) 84	137	48	135	83	140
基本的1株当たり当期(四半期)利益	(円) 417.2	692.6	246.6	691.3	426.7	717.3
1株当たり親会社所有者帰属持分	(円) 8,284.1	8,453.1	8,779.4	9,418.6	9,848.9	—
親会社所有者帰属持分比率	(%) 64.3	66.8	68.9	71.6	72.7	—

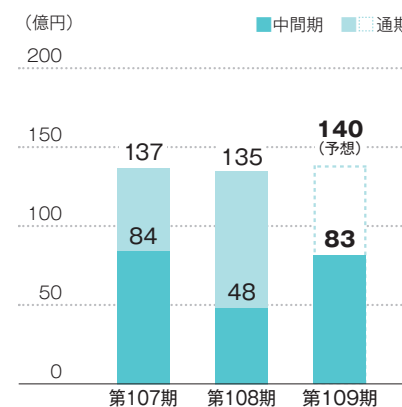
売上収益



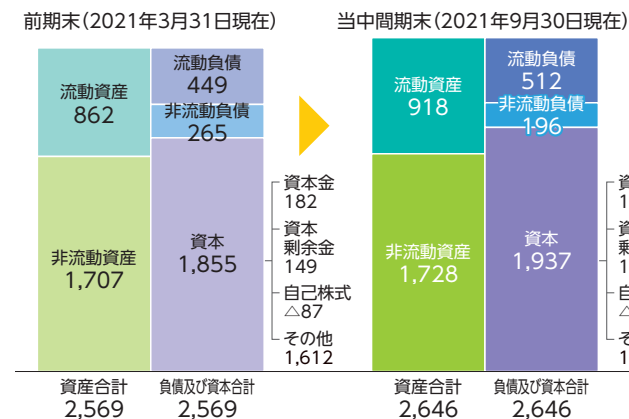
営業利益



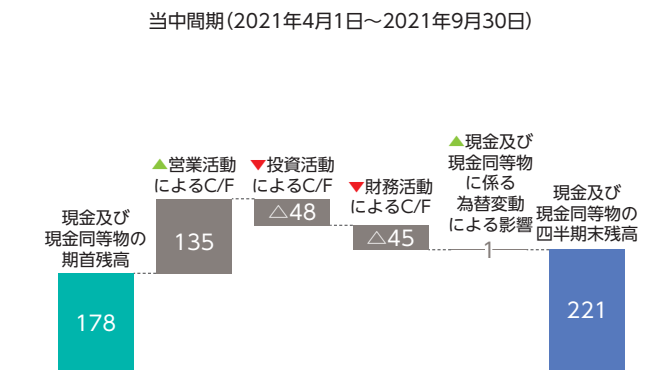
親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益



財政状態 (単位: 億円)



キャッシュ・フローの状況 (単位: 億円)



◆表示単位未満を四捨五入しています。

第109期剰余金の配当(中間配当)に関する取締役会決議

当社は、剰余金の配当等の決定に関して、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備えること、および安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としております。

2021年10月19日開催の当社取締役会において、第109期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の中間配当は、1株当たり85円とすることを決議いたしました。

1株当たりの配当金 (円)

	108期	109期
中間	85	85
期末	85	100(予想)
年間	170	185(予想)

詳細はこちらをご覧ください

<https://www.kureha.co.jp/ir/zaimu/efficiency.html>



機能製品事業

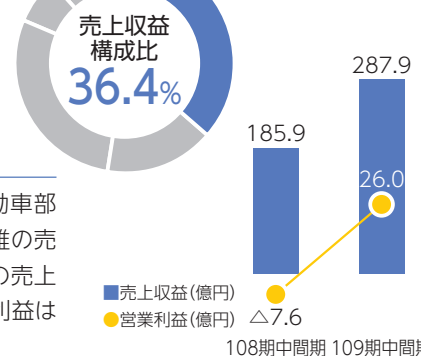
売上収益 **287.9**億円 (前年同期比54.9%増)

機能樹脂分野

リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品、PPS樹脂、その他の樹脂加工品等の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

炭素製品分野

高温炉用断熱材および自動車部品用摺動材向けの炭素繊維の売上げが増加し、この分野での売上げは増加しましたが、営業利益は前年同期並みとなりました。



化学製品事業

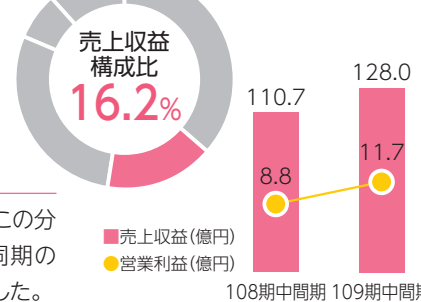
売上収益 **128.0**億円 (前年同期比15.7%増)

医薬・農薬分野

慢性腎不全用剤「フレメジン」および農業・園芸用殺菌剤の売上げが増加し、この分野での売上げは増加しましたが、営業利益は前年同期並みとなりました。

工業薬品分野

有機薬品類の売上げが増加し、この分野での売上げは増加し、前年同期の営業損失から営業利益となりました。



樹脂製品事業

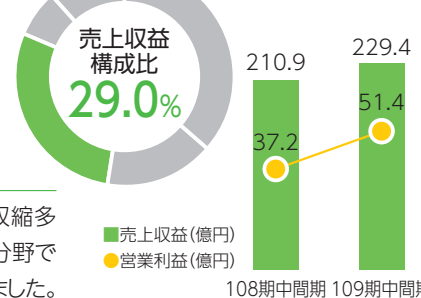
売上収益 **229.4**億円 (前年同期比8.8%増)

コンシューマー・グッズ分野

家庭用ラップ「NEWフレラップ」およびフッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

業務用食品包装材分野

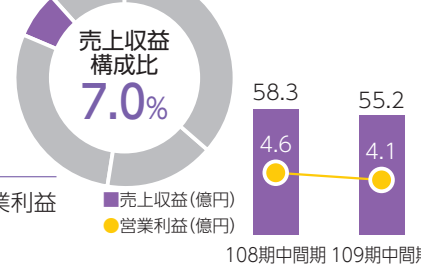
塩化ビニリデン・フィルムおよび熱収縮多層フィルムの売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。



建設関連事業

売上収益 **55.2**億円 (前年同期比5.2%減)

民間工事は前年同期並みとなったものの公共工事の工事着工遅れにより、売上げ、営業利益はともに減少しました。



その他関連事業

売上収益 **90.0**億円 (前年同期比4.9%減)

環境事業では、低濃度PCB廃棄物等の産業廃棄物処理は増加しましたが、前年同期にあった災害廃棄物処理等が完了していることにより、売上げ、営業利益はともに減少しました。

運送事業では、売上げ、営業利益はともに前年同期並みとなりました。

病院事業では、売上げ、営業損失はともに前年同期並みとなりました。

